

とき

vol.35

# 旬の人の人

## 国際理美容選手権大会で グランドチャンピオン!

ともや  
**森永 智也 さん**  
(調川・江口 2、24)



授賞式での森永さん(左から2番目)とモデルさん(左から3番目)。



本市調川町出身の森永智也さんが9月29日、九電記念体育館(福岡市)で開催された国際理美容選手権大会でグランドチャンピオンに輝きました。

同大会には、九州、山口と韓国の若手理美容師など約570人が、ショートカットの技術を競う「トレンディ ショートスタイル」、パーマの巻き方を競う「ワインディング」、自由な髪型を再現する「フリースタイル」など11部門に出場。森永さんは、メンズファッションヘア部門で優勝し、全部門での最優秀賞にあたる「グランドチャンピオン」に選ばれました。

森永さんは「家業の理容店を継ぐために福岡市内の理容店に勤務しながら理容技術の勉強をしています。大会では、モデルさんの髪質に合わせてサイドをコテで仕上げ、ランダムにスパイシーカールを入れました。その結果、種目別で優勝し、さらにグランドチャンピオンに選ばれ、嬉しさと驚きを感じています。指導してくださった先生方、モデルさん、妻に感謝しています。現在は、さらに技術を磨くため、仕事が終わってから夜12時ごろまで練習をしています。全国大会でも優勝を目指して頑張ります」と話していました。

## 私の夢、願い —小中学校生弁論大会—

第21回小中学生弁論大会（松浦ライオンズクラブ主催）が11月3日、文化会館で開催され、小学生の部で大渡未夏さん（田代小6年）が、中学生の部で宮崎あずささん（調川中3年）が最優秀賞に輝きました。

市内小中学校からの320点の応募の中から、各学校での事前審査で選ばれた優秀賞の小学生12人、中学生7人が将来の夢や願いなどをテーマに発表しました。

大渡さんは、「みんなの笑顔のために」と題して、笑顔で患者さんに接する看護師としての母の姿や、老人ホームでの体験を通して看護師になる夢を持ち、その夢を実現したいと発表。宮崎さんは、「大切なものは…」と題して、家族のために仕事と家事を両立する母の姿から、自分の甘えや、家族のありがたさ、大切さに気付いたことを発表しました。

また、「どこがおかしいの？」と題して発表した高田光紗さん（御厨小6年）が審査員特別賞に選ばれました。



中学生の部最優秀賞  
宮崎あずささん



小学生の部最優秀賞  
大渡未夏さん

## 福島地区少年の主張大会

平成20年度福島地区少年の主張大会（福島地区青少年健全育成会、教育委員会主催）が10月22日、福島小学校体育館で開催されました。

この大会は、青少年の健全育成を目的に毎年開催。小学5年生以上中学生までの全員に、日ごろ感じていることなどを作文にしてもらい、その中から選ばれた小学生4人、中学生6人が保護者や地域住民を前に発表するものです。

審査の結果、小学生の部では「大好きな福島を自まんの福島に」というテーマで発表した木寺天斗君（福島小6年）、中学生



の部では「心の鍵」というテーマで発表した徳田英理子さん（福島中3年）が最優秀賞に選ばれました。

## 松尾さんが長崎ビューティ&ヘア コンテスト留め袖着付け部門で優勝

美容師や美容学生の技術向上を図る第18回長崎ビューティ&ヘアコンテスト（県美容業生活衛生同業組合主催）が10月13日、東彼杵町で開催され、同組合松浦支部の松尾逸子さん（福島・喜内瀬、59）が留め袖着付け部門に出場し、見事優勝しました。

松尾さんは、「技術向上を目標として出場し、留め袖着付け部門には今回で3回目の出場となります。大会では一つ一つ丁寧に着付けすることを心掛けました。優勝できたのは、お客様とご指導いただいた先生のおかげと、スタッフや家族の協力があつたからだ大変感謝しています。今後も腕を磨いて、お客様に喜んでもらえるように頑張りたいです」と話していました。



## 谷川政勝さんが全国青年漁業者 交流会県大会で優秀賞

県内漁業者の活動、研究事例を発表する第11回全国青年漁業者交流会長崎県大会（県漁連、県漁協青壮年部連合会主催）が10月31日、佐世保市で開催され、新松浦漁協青年部の谷川政勝さん（志佐・里2、39）が優秀賞に選ばれました。

谷川さんは、「長崎ハーブさばの挑戦」と題して、ハーブ入りのサバ専用飼料の開発から長崎さば生産グループ結成までの経過と、グループでの取り組み状況、活動成果を発表。来年3月に東京で開催される全国大会に本県代表として出場します。

